

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成24年10月11日(木) 5校時
児 童 男子6名 女子2名 計8名
指導者 川 村 文 枝

- 1 単元名 人物のようすや気持ちに気をつけて読み、好きな場面をペープサートで紹介しよう
教材名 「名前を見てちょうだい (東京書籍 2年下)」

2 単元について

(1) 児童について

児童は、5月教材の「お手紙」で登場人物の様子や気持ちを想像しながら声に出して読む学習を行った。6月には「お手紙」を紙芝居に表し、1年生に読んで聞かせることができた。登場人物になりきって本を読むことで物語への関心が深まり、より詳しい読み取りをしていこうという意欲の喚起につなげることができた。児童は、本を読むことを好み読書活動を活発に行うが、「想像を広げて読む」までに至っていない。本単元では「登場人物の行動を中心に想像を広げて読む」力の育成をめざしている。そのために、物語の好きな場面や心に残る場面を読ませたり、登場人物の行動や会話から場面の様子を想像させたりしたいと考える。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領「C 読むこと」の指導事項「ウ場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」をめざして学習を進めるものである。「お手紙」では、物語がいくつかの場面からできていることを理解し、人物の行動に即して物語を読む活動を行った。

本教材は場所の変化と人物の変化に着目することで、場面の移り変わりを把握しやすい物語である。児童は場面の様子について、豊かに想像を広げながら楽しんで読むことができると考える。言語活動はC(2)ア「本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む」に重点を置き、指導しようとするものである。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたって、以下の点に留意する。

第一次では、本教材である「名前を見てちょうだい」の読み聞かせをし、自分なりの印象を持たせる。その後、教師が制作したペープサートで既習の物語の「好きな場面」を紹介することによって、物語を自分なりに展開する楽しさを伝えたい。児童はペープサートの楽しさに引き込まれ、自分たちも物語を演じてみたいと思うようになると思う。

第二次では、お話が楽しいという印象を持つようになった児童が物語を読み込むことで、自分の思いが入り、好きな場面、想いが込められた場面を抱くようになる。お話を自分たちで展開するとなれば、児童は登場人物になりきって心情を想像したり、叙述に着目して正しく読み取ったりしようとする。物語の場面の大体の内容や事柄の順序を捉えさせながら読み取らせると共に、登場人物の会話や場面の様子について想像を広げながら読ませる。グループで役割を決め、自分たちが選んだ場面についてペープサートを手に持って動かしたり、実際に動作の真似をしたりすることで、登場人物の会話を想像しながら話すことができるようにさせる。

第三次では、第二次で学習したことを活用させながら、1年生にペープサートでお話を紹介する活動を行わせる。紹介する要素として、自分が気に入った文章や場面をおさえさせたい。読み取ったことをもとにペープサートの動きを考えたり、セリフに感情を持たせるための方法を考えたりさせたい。そのため、物語を読み取る学習でもペープサートを動かす場面を位置づけたいと考える。

仮説（１）の「習得した知識・技能を活用する言語活動の展開」に関しては、第二次の好きな場面について叙述を詳しく読み取ったり登場人物の心情を考えたりしながら、語彙を広げる・表現の方法を知るなどの知識・技能を習得させる。第三次のペープサート劇ではそうした知識・技能を活用しながら、好きな場面のおもしろさを伝えるペープサート劇を展開させたいと考える。

仮説（２）の「叙述を根拠に思考する場を位置づけた指導」に関しては、一貫して場面の様子を人物の行動に着目して読むことを位置づけ、好きな場面を挙げて読み進める場合にも、様子を想像する手がかりになった言葉を明らかにさせながら読み取らせたいと考える。

3 単元の目標

【関心・意欲・態度】

○人物の様子や気持ちを読み取ることに関心を持ち、物語を楽しみながらペープサートで紹介しようとしている。

【読むこと】

◎場所や人物の言動を手がかりに場面を捉え、人物の様子や気持ちを想像して読み取ることができる。(C 読むこと ウ)

○物語の中から、人物の様子や気持ちを読み取る時に、大事な文や言葉を書き抜くことができる。(C 読むこと エ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いて文や文章を読むことができる。
(伝国 (イ) 一ウ)

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして読もうとしている。	・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。(ウ) ・文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。(エ)	・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いて文や文章を読んでいる。 (イ) 一ウ

5 単元の指導計画と評価規準（7時間）

段階	時	学習活動	・指導上の留意点 □具体的評価規準(方法)	取り上げる言葉
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習の見通しをもつ。</div> <ul style="list-style-type: none"> ◎学習のねらいを確かめ、物語を読んで感想を交流し、ペープサート劇への意欲をもたせる。 ・教師のペープサート劇を見て、「お話の好きな場面をペープサートで紹介しよう」という学習課題を設定する。 ・学習のねらいを確かめ、見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が既習の物語のペープサートを演じてみせる。 ㊦ これからの学習のねらいや見通しをとらえている。(観察) 	ペープサート紹介
	第二次	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">物語の大体の流れを読み取る。</div> <ul style="list-style-type: none"> ◎場所と人物に注意しながら、物語の内容の大体を知ることができる。 ・本時のめあてを確認し、設定(登場人物、時、場所)を確かめながら物語を読む。 ・挿絵を使い、お話の大体の内容を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵と照らし合わせながら、物語のあらすじをとらえさせる。 ㊦ 挿絵の順番から、自分なりに話の流れを捉えようとしている。(発言・観察)
3		<ul style="list-style-type: none"> ◎人物と場所について確認し、場面分けをする。 ・場所と人物を書き抜く。 ・物語を六つの場面に分け、出来事の大まかな流れをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 挿絵や文章を手がかりに、設定を捉えている。(ワークシート) ㊦ 場面の切り替えを意識し、物語の大まかな流れをとらえている。(ワークシート) 	場面分け 場所 人物
4		<ul style="list-style-type: none"> ◎好きな場面を見つけ、音読したり理由を話したりしながら、場面の様子について想像を広げる。 ・好きな場面を通読する。 ・好きな場面を紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。(発言・観察) ㊦ 場面を想像して、好きな理由を話している。(発言・観察) 	好きな場面
5		<ul style="list-style-type: none"> ◎好きな場面を選んだ理由について、登場人物の行動や会話に着目して考える。 ・一番好きな場面を選ぶ。 ・人物の行動について、いいなあと思ったところを書き抜く。 ・いいなあと思った場面を役割読みで 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所や人物を確認させる。 ㊦ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。(ワークシート) ・叙述に即した動きを考えさせる。 	好きな場面 会話 行動

		<p>再現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話について、いいなあと思ったところを書き抜く。 ・その場面を選んだ理由について書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験や読書体験との結びつきを踏まえて、好きな理由を書くようにさせる。 	
	6 (本時)	<p>◎好きな場面を、登場人物の行動と会話をもとに、ペープサートで演じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな動きや会話を入れるかを考えて、ワークシートに書き入れる。 ・好きな場面の面白さを伝えるための動きや音読の工夫を考える。 ・ワークシートをもとに、ペープサートを動かしたり会話を入れたりする。 ・好きな場面をペープサートで発表する。 ・グループに分かれて発表を見合い、感想を交流する。 	<p>① 齣行動や会話に分かる叙述から、気持ちを持ちを想像して書き入れている。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろさが伝わるための観点をはっきりさせる。 	ペープサート 動き・行動 会話
第三次	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">「名前を見てちょうだい」のお話を紹介する</div> <p>◎1年生に「名前を見てちょうだい」のお話を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話の好きな場面を紹介する。 ・どのように演じればお話のおもしろさが伝わるか考える。 ・1年生に「名前を見てちょうだい」のお話を紹介する。 	<p>① 齣行動や会話に分かる叙述に即してペープサートを動かしたり、セリフを言ったりしている。</p>	紹介 お話のおもしろさ

6 本時の指導（6 / 7時間）

（1）目標と具体の評価基準

【目標】

行動や会話が分かる叙述にしたがってペープサートを動かしたりセリフを言ったりすることができる。

【評価基準B】

行動や会話が分かる叙述に即してペープサートを動かしたり、セリフを言ったりしている。

（2）展開

段階	学習内容及び学習活動	・指導上の留意点 ◎個に応じた支援 □評価基準(方法)
つかむ (3分)	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確かめる。 お話に沿って、好きな場面をペープサートで紹介しよう。	・前時は、好きな場面を選んだ理由について書いたことを確かめる。 ・叙述に即して紹介することを確認する。
深める (39分)	3 どんな動きや会話を入れるか考えて、ワークシートに書き入れる。 4 好きな場面のおもしろさを伝えるための動きや音読の工夫を考える。 5 それぞれの場所に分かれ、ワークシートをもとに、ペープサートを動かしてみる。 (1)グループの中でお互いに見合い、もっと良い発表になるための工夫について話し合う。 (2)話し合いをもとに、グループで動かしてみる。 6 グループに分かれてペープサート劇をお互いに見る。 7 感想や意見を交流する。	・行動や会話がわかる叙述を基にして、想像して書き入れるようにさせる。 ・登場人物の動き、セリフの入れ方、声の大きさなど、観点をはっきりさせて話し合う。 ・見る観点を持たせる。 ・本文に即した動きになっているか。 ・登場人物になりきってセリフを言っているか。 ・他のグループの良さについて考えさせる。 ㊦ 行動や会話が分かる叙述に即してペープサートを動かしたり、セリフを言ったりしている。
まとめる (3分)	8 場面の面白さを伝える工夫についてまとめる。 9 次時の予告 次は1年生にペープサート劇を見せることを伝える。	

(3) 板書計画

人ぶつのようなすや気もちに気をつけて読み、すきな場面
をペープサートでしようかいしよう

名前を見てちようだい

お話にそつて、すきな場面をペープサートで
紹介しよう。

ペープサートの劇

工夫するところ

- ① 人ぶつになりきつてうご
かしているか。
- ② 気もちをかんがえて会話
しているか。
- ③ ようすをおもいうかべる
ことができるか。

おもしろさをつたえるくふう

- ① はつきりとした声
- ② 気もちが分かるセリフ
- ③ 大きな動き